

Information  
県議会からのお知らせ

テレビ・ラジオ放送

定例会の質問と答弁の様子や委員会の審議状況、議案の審議結果などをお知らせしています。

テレビ テレビ和歌山(WTV)

県議会だより(予定) 開会、質問、閉会日の22時30分から25分間放送 (12月定例会の放送 12/2、9、12~14、20)

県議会手話だより(予定) 閉会日の約1週間後に、22時30分から30分間放送(12月定例会の放送 12/28)

ラジオ 和歌山放送(WBS)

県議会ダイジェスト(予定) 開会、質問、閉会日の21時20分から15~30分間放送(12月定例会の放送 12/2、9、12~14、20)

県議会ホームページ

和歌山県議会

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/200100/www/>

- 県議会のしくみや主な動き、議員紹介、議会日程、質問項目、本会議録など様々な情報を掲載しています。
- 議会開会中は、質問など本会議場での模様を生中継しています。また、この中継録画やテレビ広報番組の録画をいつでも見ることができます。

傍聴してみませんか

- 本会議は、申込みなしで傍聴できます。
- 委員会の傍聴は、事前の申込みが必要です。

平成28年12月定例会 会期日程(予定)

本会議	12月 2日(金)
本会議(質問)	12月 9日(金)・12日(月)・13日(火)・14日(水)
常任委員会	12月15日(木)・16日(金)
本会議	12月19日(月)・20日(火)

※手話通訳者・要約筆者をご希望の方は、事前に議会事務局までお申し込み下さい。ただし、申込日によっては、ご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

「点字版、テープ・CD版」の案内

本紙の点字版、テープ・CD版(ボランティアの方による朗読)を作成しています。

虚礼廃止にご理解・ご協力を!

県議会では、虚礼を廃止した議員活動を行っています。

- 冠婚葬祭、慶事、見舞い及び各種行事等における寄附行為の禁止(本人が出席する結婚式の祝儀、香典等は除く)
- あいさつ状の禁止
- 議員名、議員団名及び会派名による年賀・暑中見舞い等の各種広告の禁止
- 中元や歳暮の贈答はしない
- お祝い・おくやみ電報等は出さない(親戚・友人は除く)



7月29日、和歌山・三重・奈良の三県の県議会議員が共通課題等について意見交換を行う「第10回紀伊半島三県議会交流会」が奈良県明日香村で開催され、本県からは浅井修一郎議長をはじめ10名の議員が参加しました。

「紀伊半島地域における若者の移住・定住の促進」・「大規模災害対策」・「観光振興」の3議題について、各県から議題の提案趣旨説明や取組事例等の紹介が行われた後、三県の議員27名による活発な議論が行われました。

会議では、若者の移住・定住の促進として三県で実施している首都圏での移住プロモーションを継続していくことや、大規模災害対策として三県の相互応援体制をさらに連携強化していくことなどを確認するとともに、観光振興として外国人観光客の受入環境整備推進のための支援充実を国に要望していくことについて合意しました。

議会活動の紹介  
Topics

第10回紀伊半島三県議会交流会



近畿6府県議員交流フォーラム



8月24日、近畿6府県の議員が地方議会や近畿圏の共通課題などについて、一堂に会して意見交換を行う「第13回近畿6府県議員交流フォーラム」が大府議会において開催されました。参加者は総勢57名、本県からは浅井修一郎議長をはじめ10名の議員が参加しました。

午前の全体会議終了後、各議員が4つの分科会に分かれ、人羅格毎日新聞論説委員(議会分科会)、新川達郎同志社大学大学院教授(地方自治分科会)、溝畑宏大阪観光局理事長(観光分科会)、河田恵昭関西大学社会安全研究所センター長(防災分科会)のコーディネートのもと、活発な意見交換が行われました。

続いて、午後の全体会議において、各コーディネーターから分科会の報告がなされ、最後に来年度開催の京都府議会植田喜裕議長から挨拶がありました。フォーラムが締めくくられました。

関西広域連合議会8月定例会



尾崎太郎議員

「関西広域連合議会8月定例会」が、8月29日に京都府議会で開催され、本県議会からは、山田正彦議員、尾崎太郎議員、立谷誠一議員、岩井弘次議員の4名が出席しました。

本会議においては、尾崎太郎議員が一般質問において、「統合型リゾート(IR)」について質問し、「増え続ける訪日客の受入や人手不足が問題となっていることから、当初カジノ合法化の理由とされた観光客の誘致や雇用増加は色褪せつつある。しかし、東京など大都市への資本の集中が問題となっている現在、カジノが合法化されるとすれば、和歌山のような地方においてこそ、その価値があると考えるが、広域連合としてカジノを含む統合型リゾートについてどのように考えるのか、各府県の誘致活動をバックアップする考えはあるのか、ギャンブル依存症についてどのように考えているのか」とたずねました。

本質問に対し、担当委員である山田啓二委員(京都府知事)から、「広域連合では、統合型リゾートについては研究会を設けて検討し、肯定的な様々な意見があるため、国の動向も見据えながら引き続き議論の素地となる研究を行っていく必要がある」との結論となった。また、統合型リゾートは、地域戦略とは切り離せないことから、地域の戦略をもとに国家的見地からその可能性の議論を踏まえ、どういったサポートができるかを見ていかなければならない。そして、ギャンブル依存症については、統合型リゾートが具体化するのであれば、ギャンブルへのアクセスの問題やトータル治療方法をひとつの問題として国に対して訴えていかなければならない」との答弁がありました。

近畿2府8県議会議長会議



8月31日、和歌山・京都・大阪・兵庫・奈良・滋賀・三重・福井・徳島・鳥取の2府8県の県議会議長・副議長が円滑な議会運営と地方行政の推進について情報交換を行う「近畿2府8県議会議長会議」が兵庫県淡路市で開催され、本県からは浅井修一郎議長が出席しました。

会議には計17本の議案の提出があり、本県からは、高速道路のミッシングリンク解消、津波浸水対策としての河川・海岸堤防、港湾・漁港施設の強化などに必要な予算の確保を国に対し強く求める「社会資本整備に必要な予算の確保等」を議案として提出しました。

今回は、その中から「国民一人ひとりが活躍できる社会の実現」をテーマに意見交換が行われ、それらの議案について開催県である兵庫県が代表して国に対し要望活動を行うことが決定されました。